

もくじ

えび人 vol.17	02	情報	09
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	12
HUGHUG子育て	04	相談	13
海老名駅周辺の 路上喫煙を禁止します	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



バランスに気をつけて書きました。
 海老名小学校 森下陽希さん(10歳)

写真

タイトル：たわむれ
 撮影場所：県立相模三川公園
 撮影者：柏ヶ谷在住
 高橋隆蔵さん



編集雑記

駅前通りを南に進んでいくと、段々と空が広がっていくのを感じます。市役所あたりから植栽の緑が多くなり、グリーンセンター付近から景色が開けてきます。広い空と田んぼの緑を目にして思わず深呼吸。春風に揺られて優雅に泳ぐこいのぼりの群れは、この先の左手に突如現れます。ことし見逃した方、来年はぜひ。(あ)



揚げ始めは4月の大安の日を



地域の仲間とお花見。親睦も欠かせません

新緑の下、絆を結ぶこいのぼり

大谷の休耕地に浮かぶこいのぼりは、新緑芽吹く海老名の風物詩です。19年前、地域の有志で揚げ始めた芝崎さんは「伝統の支柱を使い続けたいけど、木製だから重くてね。前回は手製の竹の支柱で試しました。高齢者ばかりになって、絡まったこいのぼりをほぐくのもひと苦労ですよ」と続ける難しさを話します。一番の悩みはこいのぼりの寄付の減少なのだそう。「昔はこの家でも揚げていたから、何百匹も寄付があった。今は揚げる数も減って、大きさも「ベランダサイズ」が主流になって。悩ましいですね」。それでも揚げる続ける芝崎さんの原動力は、足を運んでくれる人たちの存在です。「高齢者や幼稚園児、海外の人たちが団体で見に来てくれることもある。空を見上げる皆さんの表情を見るとやめられませんね」。歴代の会長や地域の方々への恩返しという熱い思いも秘めている芝崎さん。みんなの気持ち詰まったこいのぼりは子どもの健やかな成長を願い、ことしも優雅に大谷の空を泳ぎます。

今月のえび人

おおやまぐ
 大谷四区親睦会会長
 芝崎 博さん
 (大谷南在住・68歳)

大谷四区親睦会の4代目会長。大谷生まれ、大谷育ち。消防職の経験を生かした、こいのぼりのロープ結びが得意。夢は500匹のこいのぼりを揚げること